

レジメン名

Durvalumab

出典

Powles, T., et.: N.Engl.J.Med.,391(19),1773-1786,2024
筋層浸潤性膀胱癌患者を対象とした国際共同第Ⅲ相試験
【NIAGARA試験(D833RC0001試験)】: 全体集合,2024

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

尿路上皮癌・膀胱癌

☐進行・再発
☒補助療法(術後)
☐
☐

1クール期間

28日

総クール数

8クール

(次のクールまでの標準期間)

投与減速の基準(イミフィンジ)

その他	Grade1.2のinfusion reaction: 投与中断又は、投与速度を50%に減速する。Grade2の場合次回投与速度は50%減速する ※次回投与前の予防薬(解熱鎮痛剤・抗ヒスタミン薬)を検討する。 Grade3以上のinfusion reaction; 本剤の投与を永久に中止する。
-----	---

投与中止の基準

CR	男性:1.62mg/dL以上、女性:1.2mg/dL以上、又はベースラインの1.5倍を超える
T-bil	肝転移なし:1.8mg/dL以上 肝転移あり:AST/ALTがベースラインの2.5倍を超える、かつ1.8mg/dL以上、3.6mg/dLを超える
AST及びALT	肝転移なし:120IU/Lを超える 肝転移あり:ベースラインの2.5倍を超える
その他	肝転移なし: 全身性副作用: 全Grade 皮膚障害: Grade2以上で1週間以上継続。又はGrade3以上 大動脈・下腔・中腔静脈血栓症・肺動脈血栓症・下腔静脈血栓症・肺動脈・心臓・腎臓・消化器・神経系・内分泌系・免疫系・その他 肝転移あり: 肝転移による副作用(肝転移による副作用) Grade2以上

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
デュルバルマブ(イミフィンジ)	1500mg/body※1	生食又は5%糖液100mL	60分	day1
※1 デュルバルマブ: 体重30kg以下の場合は1回投与量は20mg/kg(最終濃度を1～15mg/mLとする)				

1日投与順 (経時的にプレメディケーション・ポストメディケーション、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL(ルート確保用) ②イミフィンジ1500mg※1+NS100mL(60分) 0.2又は0.22μmのインラインフィルターを使用 ③生食50mL(フラッシュ用)